

育成だより

第36号

平成25年7月29日

貝塚中学校区
青少年育成委員会

見落とすな心の信号機、 まずは挨拶から！

貝塚中学校区育成委員会

会長 日暮 規夫

新学期も3カ月が経過し、新入生も学校生活にも慣れ、元気に明るく楽しそうに通学している姿に清々しさを感じています。小学校の運動会では1年生の50m走、ゴール目指して懸命に走る姿もちよつと大きめの運動着が応援しているようで頼もしく・微笑まじさを覚えました。

テレビや新聞、いじめや尊い命が失われるなど悲惨な報道が後を絶ちません。子供は成長経過で様々な現象に遭遇します。見て聞いて考えて、そして行動します。非行も生まれつき非行ではありません。青・黄・赤の心の信号機です。そのシグナルを適切に受けとめることが大切です。まずは「あいさつ」から

青少年の健全育成に向け家庭・学校・地域一体となり推進をしたいと

思います。皆様のご協力をお願いいたします。

育成委員会に感謝

貝塚中学校校長 高柳 雅年

子ども達が楽しみにしている、夏休みももう少しとなりました。貝塚中学校育成委員会にはいつも大変に感謝しております。児童・生徒を中心にする



桜 正門にある桜

ながら、青少年の健全育成に尽力いただきました。大変ありがとうございます。一斉点検バトル、サマーキャンプ、バザー・と本当に精力的に活動していただいております。

そして、長期休業だけでなくふだんから点検活動や巡視など非行防止にも正面から取り組んでいただいております。大人がまず動くという体制は、子ども達にも必ず伝わるものです。地域で育まれた子どもに悪い子はいません。貝塚中は30周年を迎えます。新たな出発に際し、学校と地域が一体化し、ますます学校が発展できればと思います。

これからも側面から学校にご協力いただければと思います。

どうぞ、よろしく願います。

挨拶は心の触れ合い

桜木小学校校長 佐藤 修

日頃より、育成委員会・地域の皆様には青少年健全育成のためにご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。また、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、お礼申し上げます。

さて、桜木小の子どもたちは、気軽に大変気持ちの良い挨拶をしています。セーフティウォッチャーの方々から、「本校の子どもたちはいい挨拶をし

すね」という、お褒めの言葉をいただきます。また、7月の6年生農山村留学では、鴨川の人たちから「子どもたちのあいさつは素晴らしい」と言われました。挨拶は心の窓と言われるように、気持ちのこもった挨拶を交わし合うことが、どれほど人の心を和やかにするか分かります。私たち職員も、子どもたちに、

「おはようございます、〇〇さん。さわやかな挨拶ができていますね」

「おはよう、元気のいい挨拶だね」

などと声かけをしています。本校では、生活目標の年間の重点目標として、一番目に『元気にあいさつをしよう』を掲げ、日々挨拶の指導に取り組んでいます。

ところで、「挨拶」という言葉を字典で調べてみますと、「挨」は接近ということ、そして、「拶」は迫るということ、を意味しています。このことから考えますと、「挨拶」とは、人と人とが近寄って心を触れ合うということのことです。そのようなことから、挨拶を言葉だけにとらわれていては本当の意味を見逃すことになると思います。目と目を合わせて笑顔を見せたり、黙って会釈をしたりすることも立派な挨拶です。時と場に応じた挨拶への指導、そして挨拶を通して豊かな心の育成に努めていきたいと思ひます。

地域・保護者に恩返しを

北貝塚小学校校長 齊藤 和範

三十年前に若手教員として北貝塚小学校にお世話になり、再び戻って参りました。改めてよろしくお願いいたします。

一担任の時はこの地域の青少年育成委員会、社会体育振興会、PTA等の分厚い支援の輪に気づかず、「自分だけでがんばっている」つもりでおりまして。校長となって地域の皆様が熱い思いで学校を見守ってくださっていることに改めて気付くことができました。

北貝塚小学校では、運動会の前日準備から始まり、プール掃除の応援まで、他地域では考えられない支援をいただいております。

学校では、その支援をもとに、「学校生活に希望をもって登校し、その日の成果に満足して下校する」ことができるよう全力を尽くしてまいります。

学校ができることを懸命に行い、子どもたちが生き生きと暮らせるような学校づくりをすることが地域の皆様への恩返しと考えています。

こどもたちを見守ってくださっている地域の確かな目



桜木小学校

桜木小のこどもたちの、安全で楽しい生活は、毎朝登校時から見守って下さっている、セーフティウオッチャーの皆様方の活動から始まります。



新たな発見 北貝塚小学校



こどもたちの話によると、「雨の日も見守ってくれているよ。」「おはよう」と声をかけてくれるよ。」「時々いいときには心配になるよ。」などセーフティウオッチャーさんとの触れ合いは毎日の生活の中に組み込まれているようです。

本校のセーフティウオッチャーさんの特徴は、その登録を町内会・自治会が中心となって呼びかけて下さっているところにあります。今年度登録者数二百九名のうち、実に八割の登録者(百六十七名)は地域の方々であり、その人数は千葉市内で断トツです。

物騒な事件が起きている昨今ですが、私たちの学区は、すばらしい地域の目でこどもたちが守られています。本当にいつもありがとうございます。

6月1日(土)、雨がその日だけあがり、過ごしやすいつ候の中、本校の運動会が行われました。PTAの役員の事前の呼びかけ、また保護者のご協力の下、早朝からの座席確保も整然と行われました。6年生の組体操のタワーは2回失敗。しかし「何としてでも完成させるんだ」との掛け声があがり、成功した瞬間、涙を流す観客もいました。本校の児童の粘りの再発見がありました。

6月12日(水)には千葉県警察音楽隊の演奏で音楽鑑賞会が実施されました。演奏の合間に音楽隊の進行の方の交通安全のアピールもありましたが、「警察の仕事にはこうした活動もあるのかと驚きました」と感想を書いた子どもたちも多くおり、「新たな発見」となった行事になりました。

現在、体育館の耐震工事が行われており、12月10日工事完了です。体育館側のロータリーに駐車ができないなどご不便をおかけしていますが、ご理解のほどお願いします。

今年度の主な行事予定

- ◎7/20~8/31 夏休み対策活動(点検活動・巡視)
- ◎8/3 デイキャンプ(協力会)
- ◎9/2 交通安全指導(福祉交通安全部会)
- ◎9/21 青少年の日・家庭の日
- ◎7/27~7/28 サマーキャンプ(青少年相談員)
- ◎10/26 貝塚中バザー
- ◎7/6 若葉区ブロック研修会
(会場 千城台西中)
- ◎12/7 地域ぐるみ一斉パトロール
*パトロールの参加ご協力お願いいたします。
- ◎12/24~1/5 冬休み点検活動
- ◎2/1~3/2 書き初め展開催(健全育成部)
- ◎3月 育成だより33号発行(広報部)

平成25年度 育成会活動方針

地域住民の青少年問題に対する共通の理解を深め、地域における青少年問題関係機関・団体の相互の連絡調整を図りながら地域ぐるみで青少年の健全育成活動を総合的に推進する。

- ①豊かな個性と自立・協調の精神を育て、地域ぐるみで21世紀に活躍できる青少年の健全育成を推進する。
- ②大人が率先して、マナーやモラルの低下を是正する努力をする。また、挨拶の励行や青少年に悪影響を与える薬物乱用等の有害環境を除去し、その浄化に努める。
- ③児童・生徒をとりまく危険性についての研修を行い、さまざまな被害から子どもたちを守る。
- ④「朝ごはん」をきちんと食べるなどの家庭教育の充実を図り、子育てにおける家庭教育の啓発につとめる。
- ⑤近所や各地域で気軽に相談できる環境作り、地域で児童・生徒の安全を守るための取り組みを積極的に推進する。

編集後記

今年の夏は、例年よりも早く梅雨が明け猛暑になるという話でした。ところが梅雨明け宣言から暫くは天気が悪く……。その後一気に夏模様かと思えば「戻り梅雨」らしく……。さらにゲリラ豪雨。これも世界的気候変動の影響なのでしょうか。日本は四季・梅雨の移ろいがある環境が日本美を醸し出してきました。この美しさが続きますよう、これから輝いて行く子どもたちが地球環境を考えた大人になること期待したいです。

広報部会 前島 孝夫